

桜区防災ニュース

第22号（令和3年4月）

刈谷市桜区自主防災会

桜地区の自主防災組織について

災害が発生した直後は、交通網の寸断、火災の延焼などにより、消防や警察などの防災機関が十分に対応できない可能性があります。そのような時、力を発揮するのが「地域ぐるみの協力体制」です。

災害時においては、自分の身は自分で守る「自助」はもちろんのこと、地域における自主防災組織、ボランティア、企業などが、共に助け合う「共助」が重要です。

私たちの地区では、「自分達のまちは自分達で守る」という心構えで、平常時の備えと災害時の対応に取り組んでいきますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

<自主防災組織の役割>

平常時（災害に備える）	災害時（人命を守り被害の拡大を防ぐ）
地区の安全点検	情報の収集、伝達
防災知識の普及、啓発	安否確認（黄色タオル作戦）
避難所の防災用品、備蓄品の整備	初期消火、救出、救護
防災訓練	避難誘導、避難行動要支援者の支援
	避難所の運営協力
	住民のお困りごと対応

<自主防災会組織>

桜地区は指定避難所単位に7分団（裏面参照）で構成しています。

